

DECOBOCO Base co.ltd

会社案内 / ソーシャルインパクト 2026

COMPANY PROFILE / SOCIAL IMPACT

凸凹が活きる社会を創る。

BRAND STATEMENT
ブランドステートメント

誰もが社会の一員として自然に受け入れられ、活躍できる社会へ。

「凸凹が活きる社会を創る。」というビジョンを掲げ、
個々の特性に応じることができる療育事業を、
2014 年、東京中野区の教室からはじめました。

すべての人の心を守り、他者と共に成長していけるように。

持続可能な未来の実現に向けて、大切にしていることは、
売上の規模や利益の最大化ではなく、
「ソーシャルインパクト」の最大化。

私たちは、
「ソーシャルフランチャイズ」として、
130 以上のパートナー企業とともに、
日本全国に広まっています。

あらゆる違いによって区別されることなく、
ゆたかな人生を送ることができる社会へ。

そのような社会の実現に向けて、
「ソーシャルエンタープライズ」
として挑戦を続けます。



CEO's Message

**平等と公正が調和する
コミュニティを広めていきたい。**



私は日本の画一的で均一的な環境に馴染めず、高校時代に渡米しました。

アメリカは多民族国家で多様な個性が集まり、個々の特性がポジティブに評価され活かすことができる環境がありました。その時に強く感じた解放感を、今でも鮮明に覚えています。

閉鎖的といわれる島国日本ですが、私が高校生だった当時と比較すると飛躍的にグローバル化が進んできました。少子化に対応して多様性を受け入れる会社も増えてきています。

しかし、教育や福祉の分野において未だに画一的な考え方が根強く残り、一人一人の持つ凸凹（特性）をポジティブに受け入れる環境になるには、まだまだ改善の余地があると思っています。

この日本における障害者（児）を取り巻く環境も同様に、今後は劇的に変わっていくと確信しています。ＩＴ技術が進歩し、ＡＩ（人工知能）やロボット技術も向上し、今までの仕事の仕方やライフスタイルを進化させる未来にこそ、凸凹の活きる、個々の特性がポジティブに受け入れられる、そんな働き方が求められる社会になるでしょう。

私たちの活動は今後国内にとどまらず世界に広がっていきます。私たちが目指すのは、肌の色、性別、性的指向、国籍、民族、文化、宗教を超えて個々の個性が活かされ、ゆたかな人生を送ることができる「凸凹が活きる世界」のある未来。私たちはこの理想の実現に向けて取り組んでいます。

代表取締役会長 CEO（最高経営責任者）

2001 年 1 月 アルファグループ株式会社　代表取締役社長　JASDAQ 上場（証券コード：3322）
2014 年 7 月 同社福祉部門 MBO　ハッピーテラス株式会社（現デコボコベース株式会社）設立
2016 年より、株式会社オロ（証券コード：3938）社外取締役
2023 年 4 月 デコボコベース株式会社 代表取締役会長 CEO（最高経営責任者）就任

これまでの成果
Achievements so far

数値実績

事業所数
377 か所
※2025 年 11 月時点

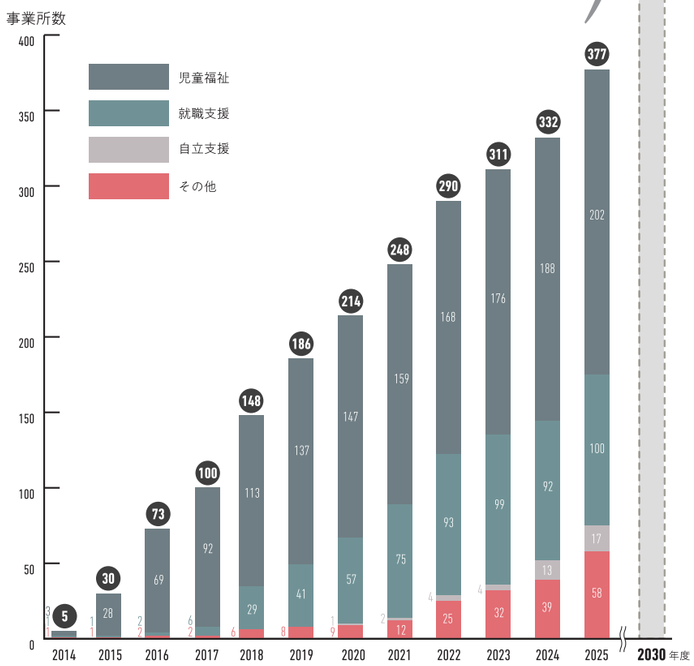
延べ利用者数
41,520 名
※2025 年 11 月時点

職場定着率
91.9 %
※2024 年度実績

延べ就職者数
3,253 名
※2025 年 10 月時点

就職時平均給与
20.2 万円／月
※2024 年度実績

事業所数の推移
※2024 年 12 月 1 日時点



会社設立当時、発達障害は「見えにくく、分かりにくい障害」とされており、特性による困りごとに対する支援や環境は整っているとはいえませんでした。

そのような状況を、教育と福祉事業を通じて解決していきたいと考え、障害児（者）通所支援事業を始めました。

「より多くの困っている方に、環境を提供していきたい」の想いから、「凸凹が活きる社会を創る。」というビジョンに賛同していただいた、ソーシャルフランチャイズのパートナー企業の皆さまと、地域連携・地域活性をひとつひとつ丁寧に、これまで 377 事業所を全国に展開してまいりました。

そのような中、労働集約型である福祉業界は、多くの課題を抱えており、特に DX 化の遅れは生産性の低下や利用者の情報格差などを生み出しています。そこで、解決の一助となる「凸凹ガイド」と「凸凹システム」と「凸凹エージェント」を開発しました。

また 2025 年度には、障害のある方が支援を受けつつ、実際の店舗で働き、経験を重ね、一般就労に繋げることを目指した就労継続支援Ａ型事業所「バーガーテラス」を展開いたしました。

今後さらに、当社のパートナー企業とＤＸ新サービスや新しい業態を、全国津々浦々展開し、「凸凹が活きる社会を創る。」コミュニティを広げてまいります。

COO's Message

**CS と DX で全国の福祉課題を
解決していきます。**

代表取締役社長 COO（最高執行責任者）

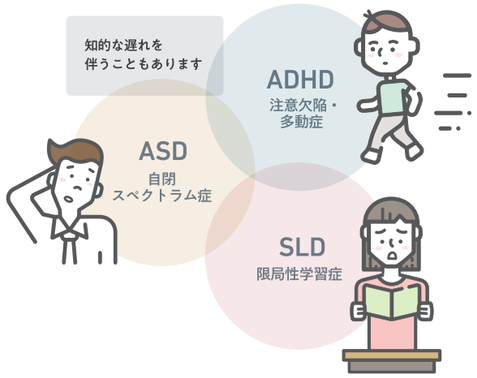
2013 年 4 月 アルファディスカーレ株式会社入社
2014 年 8 月 ハッピーテラス株式会社（現デコボコベース株式会社）取締役就任。
2020 年 4 月 ハッピーテラス株式会社（現デコボコベース株式会社）　最高執行責任者 COO 就任
2023 年 4 月 デコボコベース株式会社 代表取締役社長 COO（最高執行責任者）就任



01. 発達障害に関する基礎知識
Fundamental Knowledge

発達障害とは

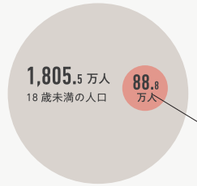
近年、発達障害は「多様性の一つ」だと考えられ始めています。これからの社会では、全ての人が「ちがい」を活かし活躍できる「共生」が必要不可欠で、社会における「発達障害」の見方、受け止め方を変えていくことが必要になっています。



障害名	特性による困りごと	特性が活かされた場合
ASD 自閉スペクトラム症	・他人の感情を読み取るのが苦手 ・具体的に言われないと理解しにくい ・こだわりが強い	・他人に左右されない ・論理的 ・オリジナリティを発揮
ADHD 注意欠如・多動症	・自分の言動を制御しにくい 落ち着きがない ・ダメだとわかっていてもやってしまう	・素早い判断ができる ・高い行動力
SLD 限局性学習症	・文字が読みづらい ・計算が苦手 ・特定の学習が極端に苦手	・学校の勉強が必要ではない分野、例えばアートやスポーツの世界で活躍

02. 発達障害当事者を取り巻く現状
Current Situation

子ども

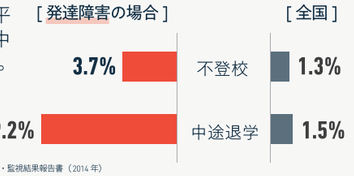


18 歳未満の人口約 1,805 万人のうち学習面または行動面で著しい困難を示す数は約 88 万人。

学習面又は行動面で著しい困難を示す者の数（小中高生の合計）

※2：通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査（2022 年）/ 学校基本調査（2022 年）

不登校割合は平均値の約 3 倍。中途退学は約 6 倍。



※3：発達障害者支援に関する行政評価・監視結果報告書（2014 年）

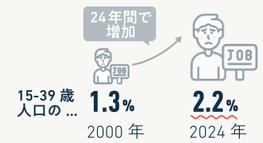


町村では放課後等デイサービスの事業所数は 40.6％で 0 か所。

※4：放課後等デイサービスの実態把握及び質に関する調査研究報告書（2020 年）
※5：障害児通所支援の在り方に関する検討会報告書（2021 年）

大人

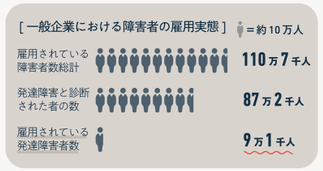
［15 歳～ 39 歳の未就業者の割合］



15 ～ 39 歳人口に占める未就業者の割合は、2000 年 1.3％が 2024 年で 2.2％と増加。

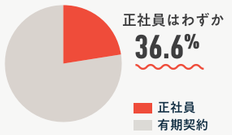
※6：労働力調査（2024 年）

発達障害と診断された数は約 87 万人。雇用されている数は 9.1 万人。



※7：生活のしづらさなどに関する調査（2022 年）
※8：障害者雇用実態調査（2023 年）
※9：障害者雇用状況の集計結果（2024 年）

発達障害者の場合



発達障害者の正社員率は 36.6％で、労働者全体の比率 63.2％より著しく低い。

※10：障害者雇用実態調査（2023 年）
※11：労働力調査（基本集計）（2024 年）

03. 当社のソーシャルインパクト
Social Impact We Bring

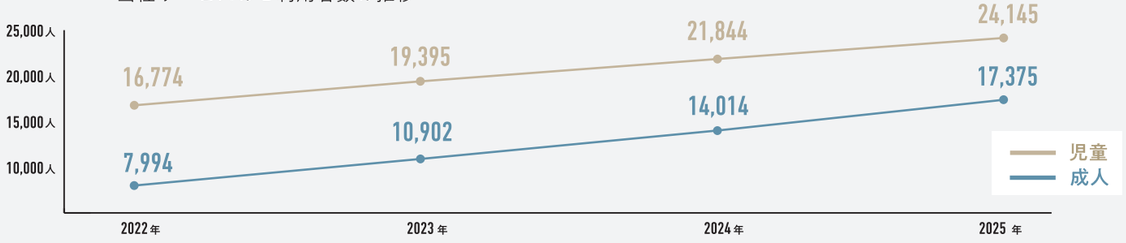
2,587 名が回答

発達障害のある子どもと大人、およびご家族にとって望ましい変化を把握するため、下記調査を実施しています。

	目標	指標 (KPI)	結果	前年	差異
子ども	子どもの自己肯定感が向上する	他者比較で自己の価値を測る 2 つの設問にてポジティブな回答の割合	80.7%	78.6%	+2.1%
	子どものコミュニケーション力が向上する	コミュニケーションに関する 4 つの設問にてポジティブな回答の割合	81.7%	81.2%	+0.5%
	子どもの成長を実感できる	「利用により成長を感じられた」と回答した割合	80.0%	79.0%	+1.0%
	育児における精神的負担が減る	「利用により精神的負担が減った」と回答した割合	79.9%	79.3%	+0.6%
	子どもの特性に合った学び方や進路を見通せる	「利用により見通すことができた」と回答した割合	73.9%	71.7%	+2.2%
大人	セルフケアができる	「利用によりセルフケアをするようになった」と回答した割合	81.3%	81.6%	-0.3%
	他者との摩擦が少なくなる	「利用により摩擦が少なくなった」と回答した割合	73.5%	72.9%	+0.6%
	やりたい(なりたい)ことがみつかる	「利用によりみつかった」と回答した割合	77.6%	77.0%	+0.6%
	自分にあった進路や職業を選択できる	ディーキャリアの年間就職者数	681 人	670 人	+11 人
	自分らしく働き続けることができる	ディーキャリア卒業者の職場定着率(就職後 6 カ月)	91.9%	95.0%	-3.1%
	充実した余暇の過ごし方がみつかる	「利用により休日が充実するようになった」と回答した割合	72.5%	71.4%	+1.1%
	ストレスが軽減される	「利用によりストレスが少なくなった」と回答した割合	73.1%	72.9%	+0.2%

※今回：2024 年 11 月～ 2025 年 10 月。前回：2023 年 11 月～ 2024 年 10 月　※ 1 10 は 2025 年度実績、それ以外は利用者へのアンケートによる

当社サービスのご利用者数の推移



04. ソーシャルインパクトの効果
Effects of Social Impact



!? 雇用されていない発達障害のある方 78 万 1000 人が、全員正社員で雇用されたら…

116,000,000,000,000 円

約 116 兆円の経済的便益が生まれる可能性があります＊

＊ 以下に基づいて試算
・精神障害者保健福祉手帳 2 級相当で「障害者加算」がついた生活保護を 25 歳から 60 歳まで受給した場合の想定支給額合計：約 5850 万円
・初任給が発達障害者の平均月収である 12.7 万円(※)で、25-60 歳まで 35 年間働いた場合の想定生涯年収：約 9,000 万円
・発達障害者 1 名が 25-60 歳まで働くことができた場合の想定経済的便益：約 1 億 4900 万円
※：厚生労働省「平成 30 年度 障害者雇用実態調査」

ご利用者のさまざまな声

ポジティブなお声、改善をご提案くださる声など、さまざまな声に耳を傾け、サービスを常に見直しアップデートしています。

＝児童発達支援、放課後等デイサービス利用者
＝自立訓練(生活訓練)、就労移行支援の利用者

息子の特性に合わせた支援のおかげで、たくさんできる事が増えました。
（年少 3 歳・母親）

希望する時間の枠がすぐに埋まってしまい、通う曜日を選びにくかったです。
（小学生低学年・母親）

通い始めてから、自分に合った仕事と生き方を見つけ出すことができ、成長を強く実感しました。
（20 代男性・就労移行支援利用）

模擬業務を通じて自分が将来、就職するにあたって必要な特性検証ができたのが、よかった。
（20 代女性・就労移行支援利用）

子供の成長のサポートだけではなく、親にとっても大変支えになっています。
（小学生高学年・母親）

担当の先生が変わることがあり、慣れるまで少し戸惑いました。
（年長 5 歳・父親）

支援職種と支援内容に少しずれを感じる時があります。
（30 代女性・IT 職希望）

IT や一般事務以外にもデザインなどに特化したカリキュラムを取り入れてほしいと思いました。
（30 代男性・IT 職希望）

05. ソーシャルインパクトに関わる活動報告
Our Activities

＊「支援サービス」から「目標達成」までのつながりをロジックモデルで表しています。

成果を測る指標 [KPI] に☆マークがついています

発達障害の子どもとそのご家族へのインパクト

1年 短期的に対象者に起こしたい変化				3年 こうなったら成功と言える変化		10年 目標の達成
児童発達支援：ハッピーテラスキッズ（0-6歳） 放課後等デイサービス：ハッピーテラス（小学校～高校）	子どもへの影響：得意なこと・苦手なことがわかる	自分のできることが周囲に評価される	①自己肯定感が向上する	②友達や周囲とより良いコミュニケーションがとれ、結果として自己理解も深まる	自分の感情や行動をコントロールできる 好きなことや将来やりたいことがみつかる 自分の特性を理解し、周囲に伝えることができる	子ども自身が、自分にあった学び方や進路を選択でき、楽しさ、生きがい、充実感を感じて生活できている
	家族への影響：子どものことを周囲に相談できるという安心感を得る	同じ状況の親と出会い、悩みを共有したり、相談しあえる				
	子どもへの理解が深まり、より良い関係性を築ける	③子どもの成長を実感できる				
			④育児による精神的負担が減り、子どもに余裕をもって接することができる	子どもとより良いコミュニケーションがとれる	家族関係がより良くなる	発達障害のある子どもをもつ家族が、安心して子育てをし、自分たちの未来を考えられる
				⑤子どもの特性にあった学び方や進路を見通せる	子どもの特性にあう進路を選択できる	
				支援体制や周囲の気遣いに改めて気づき、自分の子どもが地域の人たちに受け入れられていると感じる	自分自身も地域の一員として、同じ状況の子どもや家族を理解し受け入れられる	
				育児の負担が減り、時間の余裕ができ、仕事ができる環境が整う / 世帯収入が増える	家族にあったライフスタイルやファミリープランを選択できる	

［自己肯定感、自己効力感、自尊心の違い］

- **自己肯定感**：「自分のことをポジティブに捉えられる」力
- **自己効力感**：「人の役にたっている」という実感
- **自尊心**：「自分のポジティブ・ネガティブな部分両方を受け止められている」状態

発達障害の大人へのインパクト

1年 短期的に対象者に起こしたい変化			3年 こうなったら成功と言える変化			10年 目標の達成
自立訓練（生活訓練）：ディーエンカレッジ 就労移行支援：ディーキャリア	［生活面］・自分の特性を知る・基本的な日常生活スキルを身につける	⑥［生活面］・セルフケアができる・生活上の失敗が減る	⑨［仕事面］自分にあった進路や職業を選択できる	自分らしく働き続けることができる ⑩	経済的に自立できる	心身共に健やかに安心して社会生活を送れるようになる
	［社会面］コミュニケーションスキルを身につける	⑦［社会面］他者との摩擦が少なくなる				
	［就労面］仕事の基礎知識や実践スキルを身につける	⑧［就労面］やりたいことがみつかる	⑪［プライベート面］仕事後や休日などで自分にあった時間の過ごし方がみつかる／過ごせる	自分にあったコミュニティがみつかる／参加できる		
				ストレスが軽減され、うつ・不眠症、二次障害等の症状が改善してくる ⑫		

児童部門 2025年*の主な活動内容



書籍『発達障害の療育がうまくいく』出版 ☆1 ☆2 ☆3 ☆4 ☆5

発達に凸凹のある子どもたちへの支援を考える上で大切な視点「キッズファースト」。
「コミュニケーション力」「声かけ」「指示」「トレーニングメニュー」「切り替え」「環境設定」「保護者への対応」「問題行動」の療育に大切な８つのコツを、キッズファーストの視点から解説します。子どもの見方・考え方をを取り入れたキッズファーストな療育の実践方法も紹介。

大学共同研究 ☆3 ☆4 ☆5

保護者さまがお子さまの成長・発達に対する思いを明確化し、事業所のスタッフに伝えることを「支える」ことにより、保護者さまとスタッフの考えや願いのズレを少なくし、より深い連携を築くための研究およびプログラム開発。



*2025.1-2025.12 の期間

大人部門 2025年*の主な活動内容

デコボコエージェント ☆8 ☆9 ☆10



障害のある方向け就職・転職サービスです。全国の障害者雇用求人検索、応募、企業からのスカウトや AI での書類作成支援機能などが特徴。

当事者座談会の実施 ☆6 ☆7 ☆11 ☆12

「すべてのひとの凸凹が受け入れられ、凸凹どうしがいきいきと助け合う居場所になるように」を掲げ、困った時に頼れるコミュニティづくりや、福祉サービス専門家へのアクセス窓口になることを目指し立ち上げました。2025 年度の実績としては、開催 15 回、累計約 130 名の当事者の方が参加。



*2025.1-2025.12 の期間

06. 当社沿革とブランドの誕生
Company History and Brand Origins

創業からの沿革とブランド誕生背景などをまとめました

2014

7月

ハッピーテラス株式会社設立

発達に特性のある子どもたちが、安心して成長できる場をつくりたい。そんな想いで放課後等デイサービスから、私たちの療育の歩みが開始。

10月

ソーシャルフランチャイズパートナー募集

利用者や適切なスタッフもなかなか集まらず、苦労の日々。それでも『このモデルを全国へ』という想いで募集スタート。

2015

2月

ハッピーテラス柏Ⅱ教室開所

2016

5月

d-career

ディーキャリア芝浦オフィス開所

発達障害などの課題を抱える同僚が苦しむ姿を目にし「働くことを、もう一度前向きに考えられる場所」を作ろうと最初のオフィスを開所。



6月

HAPPY TERRACE KIDS

ハッピーテラスキッズ柏ルーム開所

地域の教育機関や保護者から「乳幼児への支援の場を増やしてほしい」という声が寄せられ、開所。



2017

1月

ディーキャリアのソーシャルフランチャイズパートナー募集

10月

発達改善スクール ハッピーテラス

ハッピーテラスケアサポート芝浦開設

サービス利用に至る手続きの負担を軽減し、子どもの成長に対する安心と切れ目のない支援の提供を目指し開所。



2018

10月

ディーキャリアIT エキスパート中野オフィス開所

12月

全国の事業所開所数 100 事業所

2020

3月

全国の事業所開所数 200 事業所

11月

d-encourage

ディーエンカレッジ柏キャンパス開所

「地域の若者に学びと挑戦の場を」柏の地に、支援の輪を広げ、自信と自立心を育むディーエンカレッジを開所。



2021

6月

ディーキャリアワーク浦和スタジオ開所

「地域の働く力を育む拠点を」浦和に想いを込めてサービス特化型の就労移行支援を開所。

10月

デコボコベース株式会社に社名変更

11月

障害者通所支援検索サイト「凸凹ガイド」リリース

2022

2月

全国で 290 事業所が開所 都道府県カバー率 75%

6月

ソーシャルインパクトの計測開始

2023

4月

ディーエンカレッジのソーシャルフランチャイズパートナー募集

6月

「凸凹ガイド」の掲載数が 1000 件突破

全国の事業所開所数 300 事業所

2024

7月

設立 10 周年

4月

「凸凹システム」外販開始

職場定着率 91.9%

※2024 年度実績

12月

全国で 311 事業所が開所 都道府県カバー率 85%

2025

9月

障害者雇用相談援助事業認定

10月

延べ就職者数 3,253 名

※2025 年 10 月時点

全国で 377 事業所が開所 都道県カバー率 91.4%達成

12月

BURGER TERRACE バーガーテラス

就労継続支援 A 型事業所 バーガーテラス大宮店 オープン

地域に開かれた持続可能なビジネスとして、世界初の「障害のある方が主役として活躍する」チェーンストアの第一号店となります。

5月

デコボコエージェント AGENT

「デコボコエージェント」リリース

400 万人以上いるといわれる働く意欲のある障害のある方と、障害者雇用を行っている「想いのある企業」とが出会える「障害者雇用専用の就職・転職サービス」をリリース。

07. 当社が目指す社会貢献の最大化
Maximizing Social Impact with Our Franchisees

全国の仲間と創るソーシャルインパクト

デコボコベース株式会社は、障害のある方の幼少期から、成人期までのトータルサポートを提供し、「発達に凸凹があっても、社会の一員として自然に受け入れられ、活躍できる」機会を増やすことを通じて、ソーシャルインパクトを最大化します。

未就学児(0~6 歳)　小中高生(6～18 歳)　大人(18~64 歳)

Education(教育)　Life Style(生活)　Vocation(就職)

B to C　直接支援事業・フランチャイズ事業
(障害のある方の一生をサポートするサービス群)

児童発達支援事業

HAPPY TERRACE KIDS



発達が気になる未就学児を対象に、日常生活を送るのに必要な知識やスキルを身につけ、集団生活を送ることを目指すためのサポートをおこないます。
ハッピーテラスキッズでは、お子さま一人ひとりの発達に合わせた楽しく学べるレッスンで、「好きを得意に、苦手を好きに」を目指す支援を提供します。

特徴
- 「楽しんで学ぶ」を目指すプログラム
- お子さま一人ひとりに合わせたアプローチ
- 「自信」を持たせ「できる！」を増やすためのレッスン
- 「からだ」「こころ」「くらし」「まなび」のスキルアップ

放課後等デイサービス事業

発達改善スクール ハッピーテラス



発達が気になる小学生から高校生を対象に、放課後や学校休校日に生活能力の向上や社会交流の促進を目的とした支援をおこないます。
ハッピーテラスでは、身体・学習・生活・社会性のスキルトレーニングと子ども一人ひとりに合わせたアプローチで、自信を持つこと、自立への第一歩を踏み出すことを目指す支援を提供します。

特徴
- 「自立」を目指すプログラム
- お子さま一人ひとりに合った最適な支援
- コミュニケーション力を育む小集団でのグループワーク
- 「身体」「学習」「生活」「社会性」の4つのスキルトレーニング

自立訓練(生活訓練)事業

d-encourage



自信を深めるスモールステッププログラム × 自立力を養うカリキュラムを提供する自立訓練(生活訓練)事業所です。
”社会に一歩踏み出すあなたのサポーター”として、一人ひとりのペースで「将来を考える」ためのサポートをおこないます。

特徴
- 自分に必要なスキルがみえる「自立力判定ツール」
- やりたいことを自分で決める「選択制クラス」
- 障害児通所支援と就労移行支援で培った「支援ノウハウ」

就労移行支援事業

d-career



就職を希望する障害のある方を対象に「はたらく」をサポートをする障害福祉サービスです。発達障害の特性による働きづらさをフォローするプログラムと、自分の価値観や適職を見極めるカリキュラムを提供しています。

特徴
- 自実際の職場を想定した「オフィス環境」で、就職“後”を見据えたサポート
- 発達障害の特性に応じたコンテンツ
- 人生を豊かにする「あなたらしい働き方の実現」を目指す「ディーキャリアポリシー」

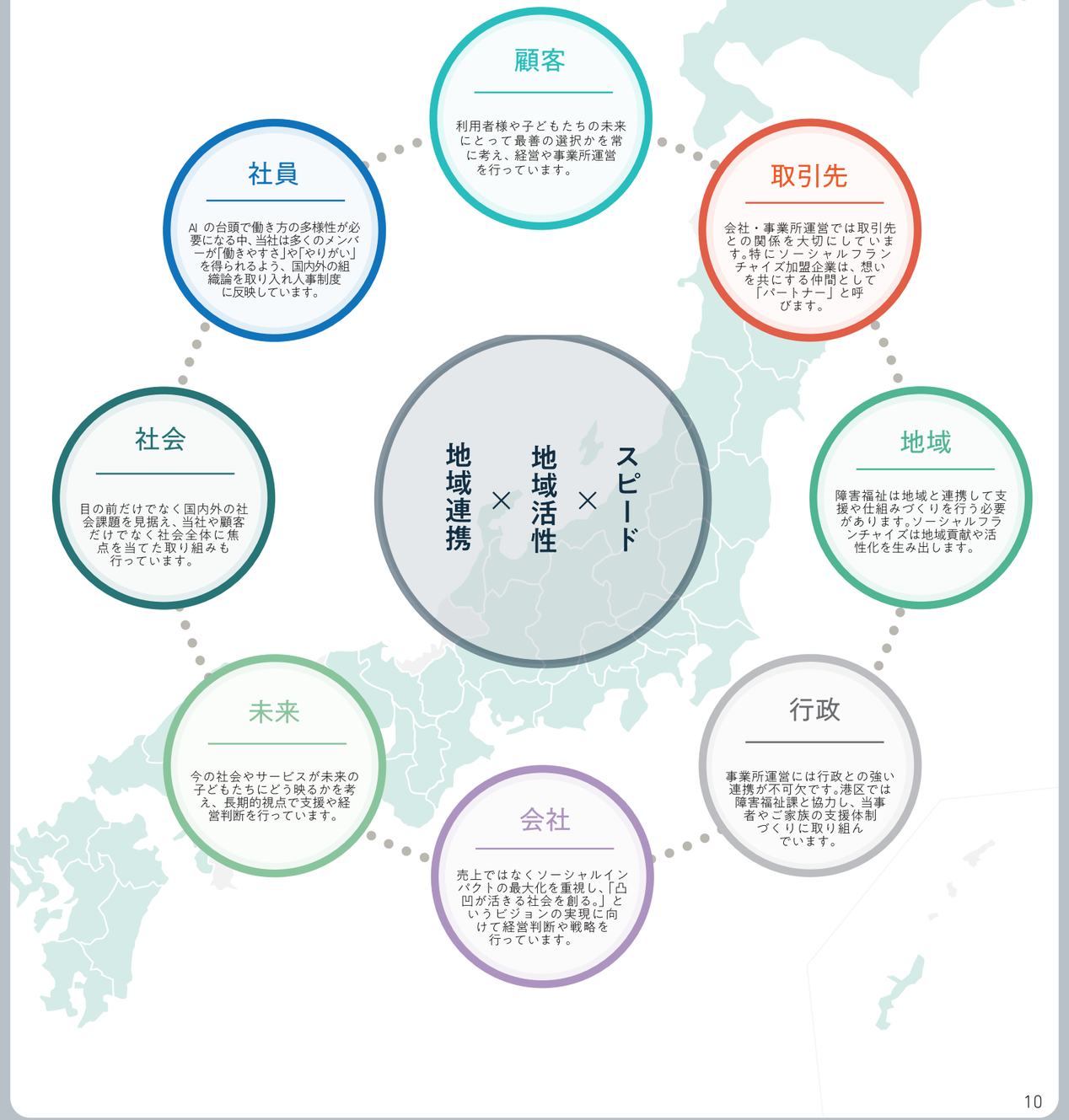
B to B　プラットフォーム事業
(障害のある方・福祉従事者・福祉事業者・企業向けのプラットフォームサービス群)

デコボコガイド GUIDE　デコボコシステム SYSTEM　デコボコエージェント AGENT　デコボコメンバーズ MEMBERS

08. 全国に広がるデコボコ・コミュニティ
DECOBOCO COMMUNITY

デコボコ・コミュニティとは

当社の思想は、「凸凹コミュニティ」というソーシャルフランチャイズの概念があります。株式会社の経済型メリットと NPO の社会課題解決型メリットのちょうど中間地点が今後の社会には求められていると考えています。売り上げや利益追求ではなく、ソーシャルインパクトを求める同志の集まりを凸凹コミュニティと表現して、凸凹コミュニティを取り巻くステークホルダーを大切にしながら、他社業界問わず仲間を集めています。



企業理念 Corporate Philosophy
教育と福祉で、ゆたかさを広める。

ビジョン Vision
凸凹が活きる社会を創る。

社是 Precept
明るく・楽しく・元気よくそして仲良く ～共によい会社を創りましょう。～

社名	デコボコベース株式会社　英語表記：DECOBOCO BASE Co.,Ltd.
所在地	〒108-0023 東京都港区芝浦 4-12-31 VORT 芝浦 Water Front 6F
設立	2014 年 7 月
資本金	26,547,915 円（資本金及び資本準備金）

代表取締役会長 CEO	上 岳史	執行役員	北川 庄治
代表取締役社長 COO	松井 清貴	執行役員	山内 靖之
取締役	上 利年	執行役員	平澤 克教
監査役	牛島 奈応子	執行役員	今関 史之
監査役	渡邉 守	執行役員	中西 将史

デコボコベース株式会社の公式ホームページ▶
デコボコベース株式会社
Official HP

デコボコベース株式会社の公式 TikTok▶
デコボコベース
TikTok

＊ロゴコンセプトは、「凸凹がとびらをひらく」。扉のブルーは希望にあふれた未来を連想させる「青空」をイメージしています。コーポレートカラーは色覚に弱みのある方にも視認しやすい配色です。

受賞歴など
Awards and Achievements

グリーンオーシャン大賞優秀賞受賞 2018 年 04 月
株式会社オルタナなどが主催する賞で、SDGs が規定する「アウトサイド・イン」(社会課題を起点にしたビジネス創出) の優秀事例を表彰

FC ショー優秀賞受賞 2018 年 11 月
成長の著しいフランチャイズ会社を表彰。フランチャイズ・ショーにおいて、事業モデルや社会性などが総合的に高く評価されて授与される賞。

オレンジリボン運動登録 2019 年 11 月
児童虐待防止についての活動を推進。児童虐待を防ぎ子どもの生命と未来を守るため、社会全体で意識を高め支援体制を充実させ、行動を促す全国的な啓発運動。

オルタナ サステナブル★セレクション 一ツ星認定 2021 年 02 月
環境や社会課題に配慮したサステナブル・エシカルに優れた、製品 / サービス / ブランドが選定

第 11 回日本でいちばん大切にしたい会社 2021 年 03 月
企業が大切にすべき、従業員とその家族、外注先・仕入れ先、顧客、地域社会、株主をはじめ、人の幸せを実現する行動を継続して実践している会社として受賞

もにす認定取得 2021 年 11 月
障害者の雇用の促進及び雇用の安定に関する取組の実施状況などが優良な中小事業主を厚生労働大臣が認定

EO ESG アワード最優秀賞受賞 2022 年 04 月
世界的起業家機構(EO)より、ESG(環境・社会・企業統治)の先進的な取り組みをおこなう企業を表彰

D&I AWARD 2024 アドバンス認定 2024 年 12 月
ダイバーシティ & インクルージョンに取り組む企業を認定・表彰する「D&I AWARD 2024」において、上位 2 番目である「アドバンス」に認定

ウェルビーイングアワード GOLD 受賞 2025 年 04 月
「誰もが自然に受け入れられ活躍できる社会」の実現へ向けて「ソーシャルフランチャイズ」の概念とモデルを提案し、「活動・アクション部門」の GOLD を獲得

経営者環境力大賞 特別賞受賞 2025 年 05 月
NPO 法人環境文明 21 が主催する、「21 世紀の社会をリードする経営者の資質」を評価する「経営者 環境力 大賞」において、「奨励賞」を受賞

東京都こどもスマイルムーブメント参画 2025 年 07 月
官民が一体となり、チルドレンファースト社会を創出する東京都の取り組み。産後のキャリアデザイン支援や、仕事と育児の両立の工夫をロールモデルとして紹介

B Corp 認証取得 2025 年 08 月
社会・環境への配慮や従業員・地域・顧客などステークホルダー全体への利益を重視し、高い基準を満たす企業に与えられる国際的な認証

キッズデザイン賞受賞 2025 年 08 月
当社が運営する「凸凹ガイド」が受賞。子どもたちの安全・安心に貢献し、事業所探しの負担軽減など子育て世代の課題解決に寄与すると評価

オルタナ サステナブル★セレクション 三ツ星認定 2025 年 09 月
ESG(環境・社会・ガバナンス)の取り組みや社会的インパクトなどを総合的に評価して選定